



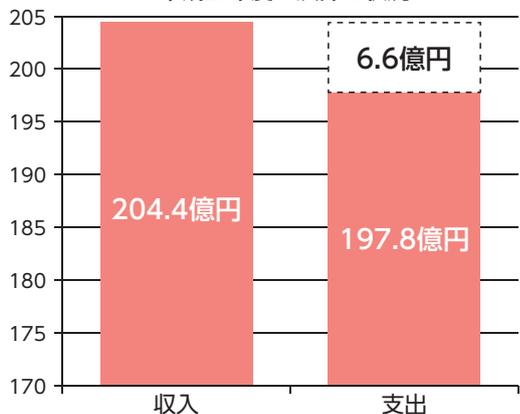
平成23年度 決算の状況

平成23年度の市の予算は、3月31日で会計年度を終了し、未払金や未収金を整理する期間を終えて、5月31日をもって、すべての支払や収入を終えました。

今号では、平成23年度決算における市の台所事情について、表やグラフを使って、わかりやすくお知らせします。

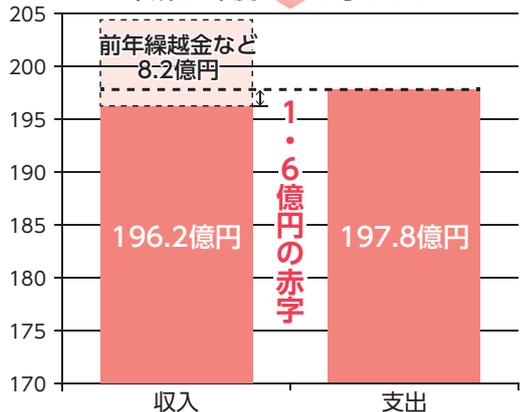
問い合わせ 財政グループ (☎⁰⁵1331)

平成23年度の決算の状況



※黒字額6.6億円には、翌年度繰越事業の財源0.4億円を含む。

平成23年度だけで考えると…



平成23年度の収入は204・4億円、支出は197・8億円で、収入と支出の差し引きでは、6・6億円の黒字となりました。

しかし、平成23年度の収入204・4億円のうち、8・2億円は前年度からの繰越金や基金（市の貯金）を下ろしたお金であるため、純粋な収入は196・2億円となります。

このため、平成23年度の単年度で

考えると、収入（196・2億円）と支出（197・8億円）の差し引きで1・6億円の赤字が生じていることになります。

これは、平成23年度の純粋な収入のみでは支出を賄いきれず、前年度からの繰越金や貯金に頼らざるを得なかったことを示しており、決して楽とは言えない台所事情にあったと言えます。



6・6億円の黒字を確保するも、単年度では1・6億円の赤字

平成23年度の台所事情

一般会計

一般会計は、税金などを財源に、福祉や教育など市の基本的な事業を経理する会計です。